

太平洋基礎シベラー

住宅基礎天端用セルフレベルング材





住宅基礎天端用
セルフレベリング材

天端仕上げに「強」・「耐」・「滑」を…

太平洋基礎レベラーの特長

- 優れた物性
- 優れた作業性
- 優れた平滑性

使用工具

● ハンドミキサ



デゾルバ式ハンドミキサ

毎分1000回転以上のもので、ハネ先はステンレス製のデゾルバ式のものを使用してください。

- 練り混ぜ用容器
(20~30ℓ丸桶又はペール缶)
- 計量カップ
- 流し込み容器
- 均し用トンボ
- 電動コードリール
- 水道ホース
他

施工手順

1 コンクリート打設

基礎型枠に、太平洋基礎レベラーの施工厚10mm程度になるよう、できるだけ平滑にコンクリートを打設し、表面を木ゴテで均します。

2 レベル出し

仕上げ面のレベル出しを行います。平滑性を確保するためレベル目印は天端釘またはマグネット等を用い、約50cm間隔で行ってください。

3 レイタンス除去

コンクリートのブリーディング水がひいた直後に、コンクリート表面を、左官刷毛やブラシ等を用いて目荒しし、コンクリート表面のレイタンスやゴミ、油分等を完全に除去します。コンクリート表面が乾き過ぎた場合は、適度な水湿しを行ってください。



物性値

於：弊社 開発研究所

試験項目	試験結果	
フロー値(mm)	270	
凝結時間 (時一分)	始発	10-00
	終結	12-00
曲げ強さ (N/mm ²)	材齢7日	4.0
	材齢28日	5.8
圧縮強さ (N/mm ²)	材齢7日	21.4
	材齢28日	28.0

試験はJASS 15M-103に準拠

*上記試験結果は性能を示す一例であり、「すべての現場条件」に当てはまるものではありません。

施工長さの目安

施工厚	基礎幅	施工長さ (m/袋)
10mm	12cm	13
	15cm	10
15mm	12cm	9
	15cm	7

荷姿



練り混ぜ水量

太平洋基礎レベラー	水量 (ℓ/袋)
25kg/袋	6.0~7.0

4 練り混ぜ

混練容器に所定の水を先に入れ、ハンドミキサーで攪拌しながら、太平洋基礎レベラーを徐々に投入し、流動性が発揮されるまでむらなく3分間良く練り上げてください。混練後は速やかにご使用ください。練り置いた場合はなるべく早めにハンドミキサーで攪拌してからご使用ください。



5 流し込み施工

流し込み容器に移した太平洋基礎レベラーを、端部より所定のレベルまで、逆流させないようにゆっくりと一定方向に流し込んでください。打継ぎ・手直しの際には、均し用トンボでタンピングしながら流動性を回復させた後、表面を軽く均します。せき止め板を使用すると、レベルの精度が向上します。



6 養生

太平洋基礎レベラー施工後は、必ずシート養生してください。低温時には太平洋基礎レベラーの硬化時間が遅れるので、型枠脱型までに5日間以上養生してください。その他養生の詳細はJASS 5鉄筋コンクリート工事（住宅用基礎コンクリート）に従ってください。



太平洋基礎レベラーの注意事項

施工上の注意

- ① 太平洋基礎レベラーの標準施工厚さは10～15mmです。最低厚さ5mmを確保してください。
- ② コンクリート打設時に、型枠内部に付着したペーストなどを除去してください。
- ③ コンクリート表面にゴミ、油などがある場合は完全に除去してください。
- ④ アルミ製羽根のハンドミキサで練り混ぜを行うと、アルミ部材が摩耗し、施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないでください。
- ⑤ 太平洋基礎レベラーはコンクリートのブリーディング水が引いたときに施工します。部分的にブリーディング水が残っている場合は、ウェス、刷毛、スポンジ等で除去してください。
- ⑥ コンクリート打設後、翌日以降に太平洋基礎レベラーを施工する場合、施工前に接着不良を防止するためレイタンスを除去してプライマー処理をする必要があります。プライマーはトフコンEの3倍希釈液または、太平洋モルトトップエマルジョンの3倍希釈液を左官刷毛などで塗布し、十分に乾燥させてください。
- ⑦ 太平洋基礎レベラーはわずかな隙間からでも流出しますので、型枠のジョイント部や換気枠などの隙間は、普通モルタル等で充填してください。
- ⑧ コンクリート打設前に取付けたマグネットなど、レベルが動いていることがありますので、太平洋基礎レベラーを施工する前に再度確認してください。
- ⑨ 太平洋基礎レベラーの施工は端から順にレベルを決めながら流し込んでください。
- ⑩ 太平洋基礎レベラーは既調合モルタルです。現場で他の材料（セメント、砂等）を混入しないでください。
- ⑪ 気温5℃以下での施工は避けてください。やむを得ず施工する場合は、適切な保温、採暖処置を行ってください。養生期間は通常1週間、冬場は2週間以上が目安です。
- ⑫ 一度に練る袋数は1～2袋を目安に混練して下さい。沢山練ると練りむらが発生します。
- ⑬ 夏場の高温時や直射日光の当たる場所、強風の影響を受ける場合には、適度な水うちや養生を行い下地コンクリート表面が乾燥しないようにご注意ください。

注 意

- 太平洋基礎レベラーはセメント同様アルカリ性を示します。誤って眼に入った場合は、直ちに清水で十分に洗浄し、医師の治療を受けてください。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので直ちに水洗いしてください。
- 太平洋基礎レベラーはカタログに記載している方法で使用してください。

太平洋マテリアル株式会社

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 ☎03-5832-5217

URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎022-221-4511
北東北営業所	〒020-0832 岩手県盛岡市東見前1-33-2	☎019-639-1260
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎03-5832-5241
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎052-452-7141
北陸営業所	〒920-0919 石川県金沢市南町5-20 中屋三井ビルディング	☎076-234-1670
静岡営業所	〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川2-2-1 セキスイハイムビルディング8C	☎054-685-8333
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島県鹿児島市上之園町24-2 第12川北ビルBOIS鹿児島	☎099-812-7131
沖縄営業所	〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビルディング	☎098-867-9663